



未来に残す「里地里山」
ふるさとの森・里・川・海
次の世代に—

環境省事務次官
森本 英香 氏

2018 環境フォーラム in みふね

自然豊かな御船の風景を未来へ残す



ふるさとの原風景を
次の世代に伝える—

28日は、吉無田高原トレッキングが行われ、105人が参加しました。参加者は、緑の村をスタートし、自然を肌で感じながら、ゆうすげの丘を目指しました。昼食には、吉無田水源の新米と大吉鍋が振る舞われました。



自然の中で学び、共に生きる
この自然は私たちが守る



この自然を後世に残すために
私たちは今、
立ち上がらなければならない

御船町長
藤木 正幸

2018環境フォーラム in みふねが10月27日に開催されました。里地里山が持つ「四季折々の風景」、「多様な生物を育む空間」「自然とのふれあいの場」など多面的な機能を次世代に継承することを目的としています。藤木正幸町長は「このフォーラムをきっかけに、皆さんがお住まいの地域で森・里・川・海の恵みを引き出し、豊かに暮らせる社会をみんなで作っていきましょう」とあいさつ。基調講演では、「未来に残す里地里山」をテーマに環境省の森本英香事務次官が講話されました。パネルディスカッションでは、藤木町長をファシリテーターとして議事を進行。御船中、御船高の生徒や阿蘇グリーンストックの山内康二さん、愛郷吉無田の工藤伸さんをパネリストにふるさとへの思い、今後継承するためにどうすべきかを話し合いました。御船高校2年緒方帆玖翔さんは「環境活動を多くの人に広めることが大事。地域の発展に伴う自然への影響は、住んでいる地域によって抱えている問題が違うことがわかった。一人一人の関わり方は、住んでいる地域を勉強し、それに対しての活動をしていかなければならない」と発表しました。



本田 トシエさん
大正8年1月10日生まれ（木倉）



藤木 智恵さん
大正8年3月18日生まれ（御船）



森 多鶴枝さん
大正8年2月8日生まれ（七滝）

10月4日、26日に今年度中に100歳を迎えられる方に、国からの内閣総理大臣祝状と記念品、町からの記念品を藤木正幸町長が施設や自宅に訪問し、贈呈しました。

平成30年9月15日現在、熊本県内の100歳以上は、1,464人（男性175人、女性1,289人）と過去最高です。御船町内では、16人（男性4人、女性12人）になります。

11月1日現在で町内最高齢は106歳。明治44年11月15日生まれの藤岡マサエさん（滝尾）です。

この町で 足跡を刻む瞬間—



松永 多美さん
大正8年2月21日生まれ（木倉）



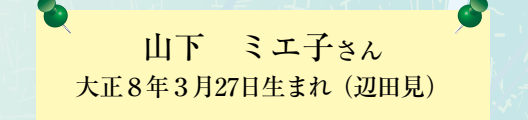
守田 サチさん
大正8年3月29日生まれ（辺田見）



山田 キクさん
大正7年7月15日生まれ（辺田見）



澤田 カズエさん
大正7年8月11日生まれ（木倉）



山下 ミエ子さん
大正8年3月27日生まれ（辺田見）